

中国地質学会海洋地質調査技術交流団 地質調査所へ

わが国と中国の友好的なつき合いが各分野で進みつつある昨今 中国地質学会海洋地質調査技術交流団が来日した。そして関係諸機関を訪問し 日本における当該分野の実状や発展動向を調べたり意見の交換を行なった。わが地質調査所および白嶺丸にも来訪された。

同団は康卜 (KAN BU) 氏—中国地質勘探公司副総理—を団長とする10人のグループであり その構成は同氏等地質学者3名 物理探鉱技師5名 ボーリング技師2名の10名である。

地質調査所には 3月18日に来所して小林所長ほかとわが調査所の業務 日本の地質学界の現況 資料や成果の交換について説明や意見の交換を行なった。その後海洋地質と物理探査に別れて 業務の説明や所内の案内

をした。またこれに先立つ3月10日には 船橋港の白嶺丸に物理探査技術を主とする5名が来訪して 中条課長ほかの案内により 船内の近代的諸設備を巡回視察しまた海洋調査の現状や計画につき熱心に討論を行なった。

中国の海洋地質の調査は 胎動の時機らしく今後の活動に対する強い意欲が感ぜられる。

中国側からは『友好不去』と達筆にするされた書を贈られた。また論文 報告類の寄贈も受けた。

また同団を通じて中国地質博物館(北京)から日本には珍しい辰砂 輝安鉱などをふくむ鉱物標本40点を贈呈された。これらは地質調査所の資料室 標本室に納められた。九州から沖縄は 海をへだてて中国に向い合っている。今後とも海の調査を中心として 中国との地質全般に関する交流を広く進めたい。

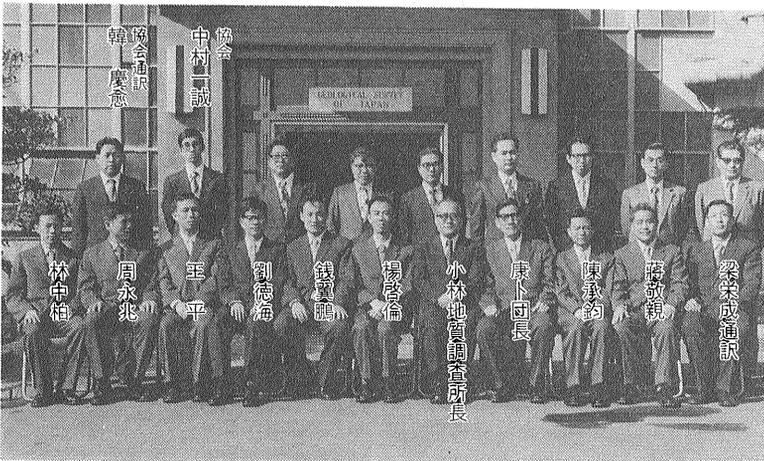
(文責：中条・駒井)

表1 中国地質学会海洋地質調査技術交流団名簿

団長	康卜	中国地質勘探公司副総理
団員	蔣敬親	河北省地質局物理探鉱技師
"	楊啓倫	広東省地質局技師
"	周永兆	中国地質勘探公司ボーリング技師
"	陳承鈞	江蘇省地質局ボーリング技師
"	錢翼鵬	中国地質勘探公司物理探鉱技師
"	劉徳海	中国地質勘探公司物理探鉱技師
"	王平	河南省地質局物理探鉱技師
"	林中柏	中国地質勘探公司物理研究職員
"	梁榮成	通訳



中国側から寄贈された標本



中国地質学会海洋地質調査技術交流団と小林所長ほかの記念写真